

**自然の中で育てた一粒に可能性を求めて**

嶋元さん上野でブルーベリーを栽培している嶋元次郎さん(上野)。新種を購入しては、上野の気候に合うかどうかの試行錯誤を4年前から繰り返してきました。害虫駆除は手作業で行い、太陽の光と清水で育てた、完全無農薬の体に優しいブルーベリー。嶋元さんは「町の新たな特産品になれば」と、今後の生産への抱負を語りました。



↑上野の里ふれあい市で毎年飛ぶように売れる完熟ブルーベリー(夏季のみ)。高鶴窯の器とジャムのコラボ商品も、今後発売予定です。  
→14坪の敷地に育つ約30種を、それぞれ丁寧に観察する嶋元さん。

↓大人が見守る中、慣れない手つきで調理に挑戦する子どもたち。真剣です。



**お母さんを先生に 小さなコック誕生**

親子の協力できずが深まる好評の「親子料理教室」が、方城児童センターで8月2日に行われました。小1~中1の子と親、22組51人が参加し、ライスピザ、野菜スープ、ヨーグルトゼリーを、24人の食推会のみなさんと一緒に楽しく調理。自分で作ったメニューをおいしそうにほおぼる子どもたちにとって、料理に興味を持つ大きなきっかけとなりました。

**常識を打ち破った3m超のジャンプ**

全国高校ウオーターポーズ選手権の出場者で構成された「INDIGO BLUE」の無料公演が、8月16日にB&G海洋センターで行われました。テレビでしか見られなかった迫力のダイブや天井に届く勢いのジャンプ、プールサイドでのダンスなどが次々と繰り広げられた30分。あっという間に過ぎた楽しい時間に、約100人の観客は熱い拍手と歓声を送りました。



↑痛快な音楽に合わせて、満面の笑みでパフォーマンス。観客もつられて笑顔に。

↓コスモス保健センターで、4年生以下の児童がお年寄りとふれ合った交流会。



**祖父母と孫のようなまなざしで**

コスモス診療所内にあるデイケアセンター福智の「夏祭り交流会」が、8月1日に開かれました。「学童クラブがえるの学校」から40人が参加し、17人の利用者とレクリエーションなどでふれあいました。握手や対話だけでなく、自発的に肩もみする場面もあった交流会。祖父母と孫の固柄のような優しいまなざしで、お互いがすくすくうち解けた様子でした。

↓ノリノリの客席からたくさんのおひねりが舞台上に投げ込まれた、かわいくて愉快なダンス「まゆげ猫」。



**江戸時代から伝わる魅力の舞台**

8月16日の夜に上弁城集会所前で開催された「六夜待」。これは江戸時代から昭和35年ごろまで行われていた歌舞伎や浄瑠璃を楽しむ催しで、平成9年に復活を遂げた伝統行事です。12回目を迎えた今年は、歌や踊り、演奏や劇など多彩なプログラムが27演目にわたって繰り広げられました。出演者の年齢は5歳から84歳まで幅広く、舞台前に集まった約300人の歓声を浴びながら熱演。笑いと感動で会場が一体となり、むしろ暑さを忘れるほどの盛り上がりを見せた熱い夜が更けていきました。

**初秋の到来を告げるふるさとの味最盛期**

明治時代からの歴史を持ち、町内外に圧倒的な人気を誇る赤池梨の収穫がいよいよ始まりしました。8月上旬から町内およそ35のナシ園で、豊かに実った「幸水」が一つひとつ丁寧に収穫されました。今年は雨が少ない日が続いたため少々小ぶりですが、甘みは十分。もぎたてが次々と出荷されています。みずみずしい旬の味を、ぜひご堪能ください。



↑出荷前の「幸水」の選果、大型品種「新高」は10月上旬から販売される予定。

↓スタンプカードは発行日から1年間有効。忘れずのために、お得意ご利用を!



**湯の名所で新たな試み**

ほうじょう温泉ふじ湯の里が、8月からお得なスタンプカードを導入しました。来館ごとに1スタンプ、10個たまると1回の入浴がサービスというシステムです。また、新たに6枚つりの回数券(2,500円)が発売され、5,000円分の回数券も枚数が1枚増えて12枚に。ますますサービスが充実したふじ湯の里を、この機会にぜひご利用ください。